

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

802-640

事務事業名	南信濃自治振興センター管理運営事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	南信濃自治振興センター	課等名	南信濃自治振興センター		包含する細々目	1	2	1	5	14	1	19,873	
政策	9 市民と共に進める行政経営												
施策	93 良質な行政サービスの提供												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議									
		事業期間		年度～		年度							
					関連計画								
					条例等								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	自治振興センター施設利用者	南信濃自治振興センター、木沢生活センター、基幹集落センター	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
		年間利用者(人)	3	3		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			2400	3000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	自治振興センターを適切に管理運営する。安定的なサービスの提供	不都合の発生件数	18目標	最終目標	0	0
			18実績	19目標	0	0
			23目標	23実績		
			18目標	最終目標		
		18実績	19目標			
		23目標	23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	事務経費 <参考> 細々目名:南信濃自治振興センター一般経費 施設の維持管理 ・光熱水費、燃料費、通信運搬費、借地料、保守点検料 ・ゴミ収集処分、マイクロバス運転管理 ・その他事務経費	18年度の実績 ・業者委託(設備点検、マイクロバス運転、ごみ処理) ・文書配布及び收受、遞送 ・管理経費(振興センター、基幹センター、木沢生活センター)(電気料、電話料、水道料、コピー使用料、保険料等) ・借地(自治振興センター、駐車場) ・木沢出張所及び一日支所の開設(八重河内、南和田) ・その他	委託件数(件) 配布・收受等件数(回数) 管理経費(千円) 借地料(千円) 開設日数(日)	11 560 12960 893 168
	19年度計画	・業者委託(設備点検、マイクロバス運転、ごみ処理) ・文書配布及び收受、遞送 ・管理経費(振興センター、基幹センター、木沢生活センター)(電気料、電話料、水道料、コピー使用料、保険料等) ・借地(自治振興センター、駐車場) ・木沢出張所及び一日支所の開設(八重河内、南和田) ・その他	委託件数(件) 配布・收受等件数(回数) 管理経費(千円) 借地料(千円) 開設日数(日)	11 550 18980 893 168

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	13,853	19,873
	事業費計(A)	13,853	19,873
人件費	正規職員所要時間	18年度 12,980	19年度 12,980
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	46,416	46,416
	トータルコストA+B	60,269	66,289

特定財源内訳や補足事項	正規職員内訳 区長・事務長・総務係2名・住民係2名
-------------	------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。


目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所が行うサービスが的確に提供される。	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(窓口サービス)	現状値	61.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	75
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
	現在の振興センター(旧役場)は老朽化が激しいため、都市部住民との交流・公民館・地域住民の活動拠点及び防災の拠点となる地域交流センターを建設し、H19.11月には振興センター機能も移転することとなる。この地域は今後のR152の改良及び三遠南信自動車道の整備により飯田市及び長野県の南の玄関口としてますます重要な位置付けとなる。	

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 地域交流センターに移転することにより、市民のアクセスが改良されより利便性が確保される。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 施設を維持し行政サービスを提供することであり、見直しはない。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 施設を維持できない、行政サービスが提供できない。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 施設を維持し行政サービスを提供することであり、見直しはない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) 必要ある (その理由) 市の施設である。行政サービスである。		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 市民窓口事務など法令で定められているため。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 <div style="text-align: center;">  </div>
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	合併により行政サービスが急激に低下しないこと、またできるだけ市民が不安を感じないように配慮した。		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	